



▼親子で楽しむ金魚の学校



イベント

10月9日(土)蒲郡市竹島水族館で行われた、「やとみの金魚すくって★！大作戦！！」取材しました。

このイベントでは、「弥富金魚すくい」を体験し、「親子で楽しむ金魚の学校」という、金魚について学ぶコーナーは、子どもたちと金魚について学び、クイズでは積極的に参加する様子が伺えました。また、金魚すくいでは32匹すくった達人がいました。

Q コロナ禍で金魚業界にどのような影響がありましたか？

コロナ禍でお祭りなどのイベントが減り、金魚すくいの需要が減りました。

代わりに、在宅勤務をする人が増え、高級魚が売れるようになりました。しかし、高級魚が売れても、全体の収入につながるのは金魚すくいなので、収入自体は減少しています。

Q 今後、どのように金魚をPRしていきたいですか？

これまでは、4月上旬に行われるやとみ春まつりや10月下旬に行われる金魚日本一大会を通じて、やとみの金魚のPRをしてきましたが、コロナ禍においてすべて中止になってしまいました。金魚の学校は、今年で7年目になり、毎年愛知県内の子ども連れ300名を対象として、行っています。これからも、このような活動を通して、将来の後継者を育てるためのPRをしていきたいです。

Q 金魚卸業をしていて大変だったことを教えてください

生きのよい金魚を競りに出すために、365日、朝早くから、金魚の様子を観察し、水温の調節などの環境を整えなければなりません。



プロフィール

伊藤 恵造さん
弥富金魚漁業協同組合 代表理事組合長
株式会社マルウ 代表取締役
55年間金魚に携わっており、伊藤さんは3代目だそうです！

校長先生をしている伊藤さん



金魚の歴史

知ってる？

金魚についてのクイズ



Q 愛知県弥富市で金魚の養殖が始まったのは約何年前でしょう？

A 約150年前
金魚は約1600年前に中国で赤いフナが発見されたことから始まりました。日本に金魚が伝わったのは、約500～600年前です。ちなみに、「金魚すくい」は、江戸時代から始まりました。

Q 金魚水槽の水換えはどのくらいの頻度がよいでしょう？

A 1カ月に1回
水換えの際に水道水を使う場合は、塩素が含まれているため、できるだけ中和剤などで抜いたり、一晩おいて抜いたりすることがおすすめです。

Q 弥富で誕生し、弥富を代表する金魚となった品種は何でしょう？

A 桜錦(サクラニシキ)
ランチュウとエドニシキを交配した品種。
名付け親は、弥富金魚漁業協同組合会長の伊藤さん(右ページ)です。金魚の品種名に「桜(サクラ)」を入れたのは伊藤さんが最初です。



第38代ミス弥富金魚 山家夕里奈さん

Q ミス弥富金魚はどのような活動をしていますか？

弥富で有名な金魚や文鳥のPRやイベントに出席して、弥富市を広く知ってもらおう活動をしています。弥富の金魚すくって大作戦は、モリコロパーク(長久手市)やアクア・トトぎふ(岐阜県各務原市)、竹島水族館(蒲郡市)で行い、弥富の金魚をすくってもらうことで、弥富の金魚に触れてもらう機会をつくるPRをしています。

Q 一言お願いします。

弥富市は、子どもが遊べる場所が多くあり、家族で住みやすい街です。コロナ禍で1年半、すくって大作戦以外のイベント活動ができなかったため、残りの半年は、もっとイベントに出席できたらいいと思います。



私たちも金魚すくいを体験しました！
いろいろな種類の金魚がいました。
とても元気があって、すくうのが難しかったです！



参加した親子連れの方もとても楽しそうでした！

